

令和4年度 - 関西大学ラグビーリーグ戦戦績 - Bリーグ12チーム中11位、入替戦に勝利しBリーグ残留

令和4年度(2022年度)リーグ戦・試合結果

昨年度に続き、まず、1次リーグとして、12チームを6チームずつB1とB2の2グループに分けてリーグ戦を行い、次に、1次リーグの各グループでの上中下同士4チームで行う2次順位決定戦が実施されました。神戸大学は、1次リーグのB2グループでは0勝5敗、勝ち点0の6位となり、2次順位決定戦では下位グループ(9位~12位)に回り、初戦は花園大学に敗戦、11位・12位決定戦は大阪経済大学に勝利しました。最終的には、Bリーグ12チーム中11位で終え、Cリーグとの入れ替え戦に臨みました。入替戦では、大阪学院大学に勝利し、Bリーグ残留となりました。リーグ戦の後半は、コロナ禍の影響や多くのけが人が出るなど、厳

しいシーズンとなりましたが、踏ん張ってBリーグに残留することができました。敗戦濃厚な試合でも最後までディフェンスに行き、終盤にトライを決めるなど、あきらめない姿勢を見せてくれました。対人練習を積みFWのセットプレーが安定していれば、もう少し勝つ喜びを味わえたと思います。進学校のラグビー部員が激減し、部員確保が難しい中、同じ国立大学の大阪教育大学と京都大学は共に、昨年の中位から上位に順位を上げました。また、交流のある甲南大学も昨年より順位を4つ上げました。これら学校の取り組みから学べるものがあるかもしれません。今年は創部100周年の年です。ビジョンを持って次の世代に繋げていきたいです。OB会の皆様におかれましては、グラウンドに足を運んでください。そして、現役へのより一層のご支援をお願いします。

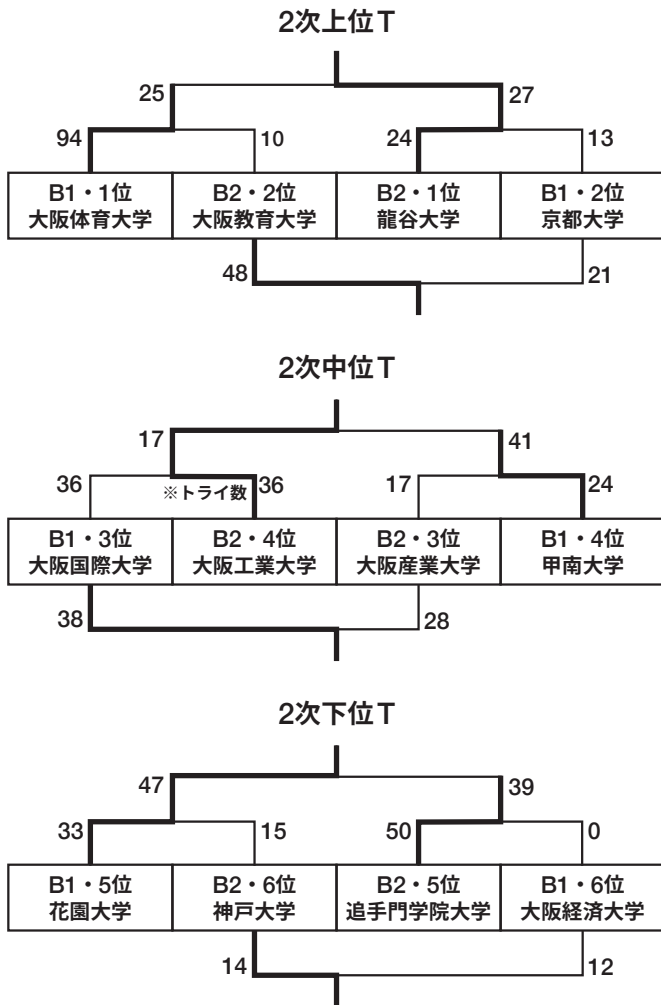
●関西大学Bリーグ最終順位

- | | | | |
|------------|------------|------------|--------------|
| 1位: 龍谷大学 | 4位: 京都大学 | 7位: 大阪国際大学 | 10位: 追手門学院大学 |
| 2位: 大阪体育大学 | 5位: 甲南大学 | 8位: 大阪産業大学 | 11位: 神戸大学 |
| 3位: 大阪教育大学 | 6位: 大阪工業大学 | 9位: 花園大学 | 12位: 大阪経済大 |

B1リーグ	大体育大	大経大	花園大	甲南大	京大	大経大	勝	負	分	得失点	勝点	順位
大阪体育大学	○	○	○	不戦勝	○	○	5	0	0	304	25	1
大阪国際大学	●	○	○	○	△	○	3	1	0	55	16	3
花園大学	●	●	○	●	●	○	1	4	0	-132	5	5
甲南大学	棄権	●	○	○	●	○	2	3	0	-19	10	4
京都大学	●	△	○	○	○	○	3	1	1	43	17	2
大阪経済大学	●	●	●	●	●	○	0	5	0	-251	0	6

B2リーグ	龍谷大	追手門大	神戸大	大産大	大教大	大工大	勝	負	分	得失点	勝点	順位
龍谷大学	○	○	○	○	○	○	5	0	0	133	25	1
追手門学院大学	●	○	○	●	●	●	1	4	0	-14	8	5
神戸大学	●	●	○	●	●	棄権	0	5	0	-155	0	6
大阪産業大学	●	○	○	○	●	○	3	2	0	8	16	3
大阪教育大学	●	○	○	○	○	●	3	2	0	22	16	2
大阪工業大学	●	○	不戦勝	●	○	○	3	2	0	6	15	4

●2次トーナメント



【順位決定方法】

◆1次リーグ

◀以下のポイント制を導入し、順位を決定する▶

- ①勝ち:勝ち点4 ②引き分け:勝ち点2 ③負け・不戦敗:勝ち点0
- ④不戦勝:勝ち点5 ⑤関西大学Bリーグでは得点28点(4トライ4ゴール)を付与し、帰責性のあるチームは0点とする。
- ⑥ボーナス点(BP):勝敗に関係なく4トライ以上獲得は勝ち点1、7点差以内の敗北は勝ち点1。

◀2チーム勝ち点が並んだ場合は、以下のとおりとする▶

- ①当該チームの直接対決 ②総得失点差 ③総トライ差数(トライ数-被トライ数) ④総得点差 ⑤総トライ数 ⑥抽選

◆2次順位決定戦(トーナメント戦)

◀引き分けの場合は、次の順で勝者を決定する▶

- ①トライ数の多いチーム ②トライ数も同数の場合は、ペナルティトライ数の多いチーム
- ③ペナルティトライ数も同数の場合は、ゴール数の多いチーム ④上記で決定できない場合は抽選で決める。

・9/18(日) 追手門学院大学戦 17:00 KO

@追手門学院大学グラウンド

前半 15-7 後半 0-31 合計 15-38

【戦評】

前半は、相手のミスをうまくつき、敵陣でプレーすることができた。確実に相手は浮足立っており、我々の硬いディフェンスの前にミスを連発。しかし後半になると、スクラムとモールで圧倒され、トライを量産された。今後の課題としてスクラムの強化が必要であると改め痛感した試合であった。

・9/25(日) 大阪教育大学戦 14:00 KO

@大阪体育大学グラウンド

前半 5-5 後半 0-31 合計 5-36

【戦評】

下馬評では、フィジカルで圧倒的に勝る相手の一方的な試合展開になるかと考えられていたが、前半は互角な戦いであった。しかし、後半では走り切ることができず、得点を重ねられてしまう。DFは前試合の追手門学院大学戦に比べて、前に出ることができており、また、ダブルタックルができるようになっていたが、力強いタックルができていなかった。DFの時間が多く、ATをあまりすることができなかったことと、体力のなさが課題とされた。

・10/9(日) 龍谷大学 14:30 KO

@四条畷市総合公園グラウンド

前半 0-29 後半 0-12 合計 0-41

【戦評】

大雨の試合となり、双方にミスが目立った。敵陣に入ることが難しく、じわじわと得点差を広げられた。トライに肉薄する場面も多かったが、無得点に終わる。ダブルタックルで相手にATのペースをつかませなかった。しかし我々も効果的なATができず無得点に終わる。前試合と同様にATが課題となる試合であった。

・10/16(日) 大阪産業大学戦 14:00 KO

@京都大学宇治グラウンド

前半 5-14 後半 5-28 合計 10-42

【戦評】

試合を通して、神戸側のサポートが多く、相手のテンポにつ

●入替戦

AB入替戦				
12月11日(日)	関西大学 A8位	50-22 (24-10)	龍谷大学 B1位	宝が池
	摂南大学 A7位	45-13 (17-8)	大阪体育大学 B2位	
BC入替戦				
12月11日(日)	神戸大学 B11位	30-17 (10-17)	大阪学院大学 C2位	大阪大学
	大阪経済大学 B12位	25-5 (15-5)	大阪大学 C1位	
	追手門学院大学 B10位	57-19 (31-7)	大阪公立大学 C3位	鶴見緑地
	花園大学 B9位	48-10 (19-5)	関西外国語大学 C4位	

いていくことができない場面が多く見受けられた。DFでは、2人目のタックラーがリロード・リポジショニングに遅れており、失点が多くなってしまった。また、ATでは、キャリアのラックの寝方が悪く、サポートの寄りが遅かったため、テンポのある攻撃ができないという課題が残った。また、ゴール前のATでは、点を取り切ることができないまま相手ボールになり、決定力も課題を感じる試合だった。

- ・10/30(日) 大阪工業大学戦 15:00 KO
@甲南大学グラウンド
結果 ×-0
棄権となったため大阪工業大学の勝利となりました。

- ・11/19(土) 花園大学戦 14:00 KO
@宝ヶ池グラウンド
前半 8-7 後半 7-26 合計 15-33

【戦評】

毎試合同様の試合展開ではあるが、前半は外国人を擁する相手に対し攻め込む展開であった。そして効果的なATをすることができたことで、先制トライをとることができた。しかし、後半は体力のなさから走り切ることができず、点差を広げられる結果となった。

- ・11/28(日) 大阪経済大学戦 14:00 KO
@大阪体育大学グラウンド
前半 5-5 後半 9-7 合計 14-12

【戦評】

今年初めて、勝利をすることができた試合で、AT、DF、エリアマネジメントの全てにおいて今シーズン取り組んできた成果が発揮できた。特に、エリアマネジメントにおいては、試合中に修正を行うことができ成長を感じた。DFについては、ジャッカルやカウンターラックによるターンオーバーができているのが良かったが、組織的なDFにはまだ課題が残る出来だった。

- ・12/11(日) 大阪学院大学戦 12:00 KO
@大阪大学グラウンド
前半 10-17 後半 20-0 合計 30-17

【戦評】

これまでの試合とうってかわって、前半は相手にペースを握られる展開となった。効果的なATをすることができず、トライに肉薄するも取り切ることができなかった。前半終盤、相手の危険なプレーでシンピンがでて数的優位の中、試合が進んでいった。しかし、得点を重ねることができなかった。後半となり、徐々に相手に疲れが見え始め、硬いDFの前にミスを連発した。途中メンバーの交代が行われ、それがうまくはまり、立て続けにトライすることができた。後半は圧倒的な力の差を見せつけることができたといえる。この勝利によりBリーグに残留することができた。



三商戦

- ・6月26日 神戸大学33-19大阪公立大学
@大阪公立大学杉本G
- ・12月17日(土) 一橋大学戦 11:00 KO
@神戸大学深江グラウンド
結果 14-24

【戦評】

雨の中での試合となり、ミスも目立った。終始、拮抗した試合展開となり、三年ぶりの三商戦にふさわしい熱くなる試合だったと感じる。この試合で、4年生は引退となるため、激しいDFでフィジカルが強い相手に食らいついていった。後半からは、イギリスからの留学生であるウィリアム・パウエルなどの活躍によってトライラインに迫るも、取り切ることができず、逆転とはならなかった。今後の活躍に期待が持てる試合であった。

- ・12月18日 一橋大学17-40大阪公立大学
@神戸大学深江G

三校が一勝一敗で並び、三校優勝

(参考)大阪公立大学:関西大学Cリーグ 3位(12チーム中)
一橋大学:関東大学対抗戦Bリーグ 7位(8チーム中)



定期戦

- ・8月21日(日) 甲南大学戦15:00 KO
@菅井平31番グラウンド
前半 7-15 後半 0-10 合計 7-25

【戦評】

3年ぶりの甲南大学との定期戦を行うことができ部員一同大変喜ばしく感じていた。

全体を通して、敵陣に入ることができず苦戦した。フィジカルで勝る相手に対して奮迅するも得点を重ねられてしまう。しかし、モールで得点することができ一矢報いることができた。

※東京海洋大学と関西学院大学との定期戦は行われませんでした。

今シーズンを振り返って(現役チームから)

(1)御礼

はじめに、今シーズンを通してご支援・ご声援をくださいましたOB・OGの皆様およびサポートしてくださいました部員の保護者の方々にお礼を申し上げます。チームを支えて頂きあり

がとうございました。皆様のサポートによって、三年ぶりの夏合宿や三商戦の開催をすることができ、シーズンを無事に終えることができました。誠にありがとうございます。

(2)今シーズンの戦績について

前年と同様に、コロナ禍ではありますが、今年のリーグ戦は入れ替え戦を含めて、試合数8試合での開催となりました。戦績としましては、【第1戦】vs 追手門学院大学、15-38で敗戦【第2戦】vs 大阪教育大学、5-36で敗戦【第3戦】vs 龍谷大学、0-41で敗戦【第4戦】vs 大阪産業大学、10-42で敗戦、【第5戦】vs 大阪工業大学、棄権による敗戦【第6戦】vs 花園大学、15-33で勝利【第7戦】vs 大阪経済大学14-12、で勝利【第8戦】vs 大阪学院大学、30-10で勝利でした。シーズンを通して、8戦2勝6敗と終わってみると、敗戦が多くCリーグとの入れ替え戦に挑まなければいけない苦しいシーズンでしたが、リーグの第7戦以降は、チームとしてのまとまりが高まり勝利に貪欲な良いチームになっていたと思います。

(3)今シーズンの総括

2021年の年初めに、「今年のチーム目標はBリーグ3位です」と抱負を申し上げましたが、実際は敗戦が多くBリーグ11位という結果でした。コロナウイルス感染発覚によるリーグ戦の棄権等ございましたが、部員一同が抱いていた危機感や勝利への渴望により、リーグ戦を通して例年にはない成長ができていたと思います。OBの皆様の激励や、練習環境へのご支援は、モチベーションの維持とチームの継続的な成長の支えになっていました。三年ぶりの夏合宿は直前でのトラブルもありましたが、合宿を通して、スキルの的にも精神的にも部員たちは成長できたのではないかと感じております。

今一シーズンは、けが人が多く出ました。そのため、多くの試合においてフルメンバーで戦うことができませんでした。さらに全選手に戦術を落とし込みきれず、とても苦しい戦いとなりました。9月18日の開幕には、戦術の落とし込みを練習では行っていたものの、練度が足りていませんでした。前述したように、リーグ戦では試合を重ねながら、チームを成長させることができたものの、けが人がもっと少なければ、もっと勝利数を増やすことができたのではないかと思います。しかし、けが人が多く出たことによって、試合の機会に恵まれた選手が数多くいます。この経験が後の神戸大学ラグビー部の発展につながると確信しております。後輩には、上位リーグ進出に向けて、春からの活動について見直し、リーグ戦初戦から白星を積み上げるチームになってもらいたいと思います。

(4)後輩へ

思い通りにいかないことや、上級生がふがいない部分を見せしてしまったことは反省すべき点ですが、最後には先輩らしい姿を少しでも見せることができたのではないかと思います。今シーズン私たちについてきてくれて本当にありがとう。今年のチームは例年よりまとまりが強く、リーグ戦最終節では、チーム一丸となって勝つ喜びや楽しさを感じることができたと思います。また、やれるだけのことを全力でしていれば、結果は自ずとついてくるので、どんな状況でも最善を考えて行動し、来年も「勝利」の喜びを分かち合えるチームを作り上げてください。

また、この3年はコロナウイルスの影響から、近国体等の未経験の行事を指揮しなければいけないため、来年度のチーム運営は苦勞することが多いと思います。悩んだときは遠慮することなく私たちを含め、OB・OGを頼ってください。必ず手助けします。

最後に、神戸大学ラグビー部に関わってくださっている全ての皆様、本当にありがとうございました。

令和5年度(2023年度) 新チーム首脳陣紹介

主 将	伊藤 一真 (国際人間科学部・新4)
副 将	岡田 昂大 (国際人間科学部・新4)
	平井 創貴 (海事科学部・新4)
FWリーダー	黒塚 陸人 (海事科学部・新4)
BKリーダー	吉野 実 (国際人間科学部・新4)
主 務	南 俊輔 (経済・新3)
副 務	川本 将太 (法・新3)

創部100周年記念事業にあたって

会長：田中計久(S53卒)

OBの皆様には益々ご清栄のことと思います。いよいよ創部100周年の記念すべき年を迎えました。これまで以上に身の引き締まる思いです。

さて、100周年記念事業については、昨年4月のOB総会にて大枠の承認を頂いたのち、坂下副会長を中心に、①深江キャンパス体育館内にロッカールーム及びミーティングルーム兼クラブルーム設置、②100周年記念誌の作成、③7月9日の記念式典及び祝賀会実施、を柱に昨年来理事会で議論して参りました。詳細は、坂下さんからの報告をご参照下さい。

すでに、昭和57年卒以降のOBで、①は中本さん(S57卒)、②は遠藤さん(S60卒)、③は天知さん(S57卒)を中心に、実現に向かって具体的な行動を開始していただいております。また板垣事務局長が理事会開催や大学事務方との折衝でバックアップしていただいていることも申し添えます。池内副会長、辻野さん(S56卒)、鬼丸さん(S62卒)の東京支部幹部がこれから始まる100周年記念事業の原資となるOB寄付に向けて、中堅若手OBの結束を図るアクションを始めていただいております。

今回の100周年記念事業推進にあたり、我々にとり有難かったのは、京都大や一橋大ラグビー部の100周年記念式典に出席し、先行事例として参考にさせていただく機会があったということです。例えば、100周年記念誌発刊については、多くのOBの労力と時間が必要であり、式典時の記念資料配布が良いかと考えておりましたが、一橋大ラグビー部の式典にていただいた立派な記念誌を見て、やはり神戸大ラグビー部として75周年誌以降の足跡を含めてまとめる必要性を感じた次第です。また、75周年誌発刊後に卒業されたOBの現役時代の記録や思い出を残す機会でもあり、幅広い世代のOBの皆様のご寄稿やご協力をお願い致します。

また、創部100周年を機に、グラウンド芝生化に続く練習環境やインフラ整備を進めて現役チーム支援を強化し、それとともに他校ラグビー部が来られて恥ずかしくない施設とすることは、大学に支援を期待できない状況でOB会が担っていく役割です。現役が日々利用するだけでなく、OBが深江グラウンドを訪れ、現役や他のOBとクラブルームにて歓談できるのにふさわしい場があれば、と考えております。

創部100周年は、我々にとってこれまでの足跡を辿る重要な到達点であると同時に、これからの神戸大ラグビー部の将来像を未来志向でイメージし具現化していくスタート点となります。

現役チームは昨年12月11日の大阪学院大との入れ替え戦を30

対17で勝利し、創部100周年の記念すべきシーズンをBリーグ在籍で迎えることができました。南主将他4回生を中心とした現役チームの頑張りに試合当日は心を揺さぶられました。今シーズンも、磯江さん(S53卒)、小松さん(S54卒)、中本さん(S57卒)、森岡さん(H01卒)による現役チームサポートと明慶さん(S53卒)、三戸森さん(S54卒)、新井さん(S55卒)福本さん(S63卒)による芝生グラウンド整備が、現役の活躍を支えたことも忘れてはなりません。

どうか多くのOBが100周年記念事業に心を寄せて、ご支援、ご協力いただくことを心よりお願い申し上げます。

創部100周年記念事業について

副会長：坂下清信(S57卒)

創部100周年記念事業は盛りだくさんの事業を計画しています。OBの皆さん全員参加で記念すべき100周年を祝い、この輝かしい伝統を継続・発展させましょう。

① 記念式典と祝賀会を開催します。

令和5年7月9日(日)午後、神戸大学で記念式典と祝賀会を開催します。祝賀会は東京支部でも東京六甲クラブにおいて同時開催予定です。式典と祝賀会は神戸とネットで繋がりますので、東京でも式典の様子をご覧いただけます。皆さま、予定を空けておいてください。

②100周年記念誌を発行します。

75周年事業として記念誌が発行されてから、この25年間は発行がありません。この間のOB会の歩みを記録すると同時に、若いOBの方々に寄稿いただき、未来志向の記念誌にできればと考えています。発行は記念式典と祝賀会の記事も掲載しますので令和5年末頃になる予定です。

③現役支援として練習環境やインフラを整備します。

深江グラウンドは天然芝の立派なグラウンドですが、ここにはラグビー部員や対戦チーム等が専用で使用できる更衣室がありません。このため、ラグビー部員や利用者は露天で着替えることが常態となっています。また、現役部員が部の運営や戦略会議(プロジェクターを用いたプレーや戦術の分析など)を行える場所也没有。これらを改善すべく、深江キャンパス内施設にロッカールームとミーティングルーム及び④にあるOB会コーナーを加えた『クラブルーム』を整備します。さらに、深江グラウンドで観戦する際、観戦設備は全くありません。そこで、折りたたみテントや背付ベンチ、また、練習や試合を俯瞰できる移動式物見やぐらの購入を計画しています。

④OBのためのギャラリーを深江キャンパスに設けます。

『クラブルーム』の一角にOB会コーナーを設けます。OB会コーナーは、深江グラウンドを訪れたOBが現役部員や他のOBと親しく歓談できるコミュニケーションの場とします。そこには、神戸大学ラグビー部の歴史を感じることができる写真や記念品、年表や過去の戦績などの資料を備え、壁にはOB全員のネームプレートを掲げることを計画しています。

⑤深江グラウンド天然芝の維持及び将来の更新に備えた資金を確保します。

芝生化後の5年間による蓄積した芝生の痛みをしっかりと補修しリフレッシュするため、また今後の予期できない災害や芝生の病気に備える資金を確保しておく必要があります。

上記③～⑤の事業を遂行するためにはOB各位のご寄付をお

願いしなければなりません。2017～18年に芝生化事業に対してご寄付を頂いたばかりで誠に恐縮ですが、ご理解、ご協力の程よろしくお願いたします。

創部100周年記念誌への寄稿依頼

記念誌編集委員：遠藤 勉(S60卒)

創部100周年記念誌への寄稿を募っています。昨年末に、学年幹事殿を通してご存じかと思いますが、本誌にて再度お願い致します。学年幹事殿は同期の中心となって寄稿を募ってください。特に、平成元年以降に卒業の学年幹事殿よろしくお願いたします。

重鎮OB、部長・監督経験者、旧商船大関係者、元マネージャ、創部90周年事業関係者、芝生化事業関係者等の皆様には、別途、寄稿のお願いをしております。

【趣旨】

今回、節目の100周年を迎え、前回記念誌を発行した創部75周年からの25年間にフォーカスした上で、過去の戦績等を記録し、若手OBや現役部員、これから入部して来る後輩諸君が過去を知り、これからの神戸大学ラグビー部のありたい姿をイメージする「未来志向」で神戸大学ラグビー部の歴史を紡ぎ続けるような記念誌にしたいと考えています。

【寄稿内容】

例えば、記憶に残る試合、合宿の思い出、神戸製鋼との合同練習、同期を中心とした座談会録、豪州チームとの対戦、試合前のルーティーンや気持ちを奮い立たせた当時の青春歌、阪神大震災の経験、先輩後輩の繋がり、卒業後のラグビーへの思いの変化、後輩へのメッセージ、今後の神戸大学ラグビー部のあり方の提言、創部90周年事業の台湾遠征とその後の交流、留学生選手との交流、芝生グラウンド所感、ORCAS命名の思い、コロナ禍での創意工夫、ボール寄付活動、女子マネージャの苦楽等々。内容はお任せしますが、上記の趣旨を頭の片隅に置いて書いていただければと思います。

【字数】

最低1600字程度(おおよそ1ページに相当、神戸大学75周年記念誌と一橋大学創部100周年記念誌を参考に設定)で上限はなし。

【コラム「自分たちの時代のラグビーボールについて」】

ラグビーボールに纏わるコラムを企画しています。山形さん(S52卒)が、ご自身の事務所ホームページに「ラグビーボール(楕円形)」について書かれています。

ラグビーボール(楕円球) |

山形税理士事務所&C(yamagata-tax.com)

https://www.yamagata-tax.com/daen_46856.html

ある時期からラグビーボールが皮ボールからゴムボールに変わり、ラグビーのプレースタイルに影響を与えているようです。例えば、昔はボックスのパスはストレートパスが主流だったのが、今ではスクリュースパスが主流です。関西大学ラグビーCリーグのチームでもスクリュースパスで長く早いパス回しをしています。ダイブパスやスクリュースキックを見かけなくなったこと、ノックオンが減ったこともボールの影響かもしれません。昔は皮ボールを唾で手入れしていましたが、今はどうしているのでしょうか。

全世代共通の話題としてラグビーボールを取り上げた、コラム「自分たちの時代のラグビーボールについて」を設けたいと思います。神戸大学ラグビー部の歴史の綴りが一つできるのでは

ないでしょうか。ラグビーボールに纏わるお話も寄せてください。字数はお任せします。気楽に書いて頂ければと思います。

【写真/資料】

著者の最近の顔写真を添えてください。その他、学年の集合写真や試合の写真、記録となるような資料の提供をお願いします。記念誌に掲載することに加え、クラブルーム兼ミーティングルームに展示予定です。また、提供いただいた写真の一部は記念式典で流す動画用素材とさせていただきます。

【会長・部長・監督・主将情報】

4年生時のOB会長、部長、監督、主将を教えてください。

【データ形式】

原則、ワード、JPEG等の電子データ形式。電子データ形式が無理な場合は郵送をお願いします(返却ご希望の場合は返却致します)。

【期日】

2023年3月19日(日)

【提出先】

電子メールの場合: ryoso.rugger@gmail.com
郵送の場合: 〒666-0115 川西市向陽台3-5-92 遠藤勉

【発行時期】

7月9日開催の記念式典及び祝賀会の様子も載せますので、開催後の年内。編集と校正に時間を要しますので、逆算して期日設定しました。

【その他】

平成卒、特に平成11年以降に卒業のOBで、創部100周年記念事業を一緒に推進していこうという方を募っています。事務局まで連絡をお願いします。

最低1600字程度の原稿1件(共著でもOK)とコラム1件の合計2件が各学年の最小担当分です。上限件数は設けていません。不明点は遠慮なく問い合わせてください。ご提案も受け付けています。

ご多忙とは存じますが、ご協力の程よろしくをお願いします。

令和5年度(2023年度)OB総会と春季試合等の予定

1月末時点の情報です。事前に学年幹事を通して連絡します。

- ・理事会及び現役4年生慰労会: 2月26日(日)
- ・OB総会&記念事業説明会: 4月29日(土)神戸大学大阪クラブ(別途、東京でも説明会を実施予定)
- ・OB戦及び現役交歓会: 未定
- ・創部100周年記念式典・祝賀会: 7月9日(日)六甲台キャンパス、東京六甲クラブ
- ・東京支部総会: 未定
- ・定期戦(東京海洋大学、甲南大学、関西学院大学): 未定
- ・近国体 5月頃

ホームページのご案内

現役ホームページはリニューアルのため3月まで休止、4月に再開予定です。URLは変わりません。リニューアル後のホームページにはOB会情報も掲載します。

URL: <https://www.koberfc-official.com/>

再開までの現役情報は、Twitter、Instagram、Facebookをご覧ください。

訃報ご通知

謹んでご通知申し上げますと共に心からご冥福をお祈り申し上げます。合掌

平井 三郎 様(S27卒) 長男様からの連絡、詳細は不明
河村 泰忠 様(S42卒) 令和4年3月26日ご逝去
横田 淳一郎 様(S30卒) 令和4年8月28日ご逝去
坂口 舜平 様(S28卒) 令和4年10月28日ご逝去

OB会費納入のお願い

口座振替の時期は、基本的には毎年6月28日となっております。振込で年会費を払っておられるOBの方々には、できるだけ口座振替にして頂けることをお願いします。口座振替での納入方法を用意していますので、ご希望の方は事務局までご連絡をお願いします。口座振替用紙を送付させていただきます。今後ともOB会の財務基盤強化に向けて何卒ご協力、ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

【年会費】

卒業後10年未満 6,000円(マネーじゃは3,000円)、卒業後10年以上 12,000円(マネーじゃは6,000円)、賛助会員5,000円。70才以上の方で特段の申し出のなかった皆様からは、ご寄付いただいたものとして引落しさせていただいておりますのでご了承ください。

【振込先:凌霜ラグークラブ】

三井住友銀行 天満橋支店 普通口座 0957978
三菱UFJ銀行 大阪駅前支店 普通口座 0027557
ゆうちょ銀行 口座 00960-4-302152

凌霜ラグー通信の郵送について

次号から郵送は希望者のみとなります。まだ郵送希望を連絡されていない方は、送付先住所を下記までお知らせください。

- ・メールの場合: ryoso.rugger@gmail.com
- ・郵便の場合: 〒666-0115 川西市向陽台3-5-92(遠藤勉)

深江グラウンドの練習見学について

- ・現在、大学側のコロナ禍対策として学生以外の方の入構には事前手続きが必要です。
- ・深江グラウンドでの練習を見学されたい方は入構手続きを取りますので事前にOB会事務局までご連絡下さい。

名簿内容変更の連絡について

- ・昨年はOB会名簿の更新作業にご協力頂きありがとうございました。
- ・会員の住所、電話番号、メールアドレスなどの変更は事務局で随時受け付けています。変更があった場合は速やかにOB会事務局までご連絡願います。

神戸大学ラグビー部OB会事務局

- ・メール: itagaki@mikunikinzoku.jp または kobe.u.rfc.ob@gmail.com
- ・電話: 080-9543-0441(板垣OB会事務局長の携帯電話)
- ・郵便: 〒662-0051 西宮市羽衣町7-32-509(板垣毅)
- ・FAXはありません。